

みなさんこんにちは！人権・男女共同参画室です！
男女共同参画情報発信 第8回をお届けします！



第8回のテーマは「意識」から「行動」へ、 目指そう男女共同参画社会。です。

男女共同参画社会の実現には、一人ひとりの意識と行動力が必要です。今号は、先月2月7日とねミドリ館で行われた男女共同参画フォーラムの開催と地域で活躍する事業所・団体・個人の皆さんの紹介をお届けします。

男女共同参画フォーラム パートナーシップ in 古河 2016 開催

☆オープニングアトラクション☆ 古河わくわく舞踊教室



◀地域に伝わる盆踊りや日本舞踊の練習をとおして、礼儀作法や日本のこころを子ども達に伝えています。

☆講演☆

講師 谷口 真由美 先生

(大阪国際大学准教授・大阪大学非常勤講師)

演題 おばちゃん目線で見る社会問題
～みんな幸せに暮らすには～



◀自身の経験や社会情勢などさまざまな切り口で話す谷口さん

☆表彰式☆ 古河市合併10周年記念事業 古河市男女共同参画週間キャッチフレーズ

～最優秀賞～
「意識」から「行動」へ、目指そう男女共同参画社会。
大山 藍 さん (小美玉市)

～優秀賞～
【学生の部】
○二つの色で作れる色はむげんだい
古河第六小学校5年 沖田 海璃 さん
○男子力、女子力、共にひろく未来への扉
上大野小学校6年 松田 樹奈 さん
○みんなちがう でもいっしょ
総和北中学校1年 狩野 繭子 さん

【一般の部】
○対等にいい汗 いい知恵 いい社会
原田 祥二郎 さん (福岡県)
○広がるね 夢も未来も 参画社会
渋谷 史恵 さん (宮城県)
○生かそう！ あなたの力 わたしの力
中田 しのぶ さん (東本町)

○ありがとうございます、おめでとうと言える人間に。
○自分が辛かったことを、他人にしないことがみんな幸せに暮らせる社会にしていける。
○社会状況含めて、何が適切かを考えた上で下の世代へアドバイスをしていかなければいけません。
○少数者に対して多数者はどんかんです。少数者は常に苦痛にさらされ、生きづらい。
○子どものため、若い人のために腹をくくって戦える大人が一人でも増えれば、何かをしてくれるおせっかいな、おっちゃん、おばちゃんが増えるのでないかと思います。【講話より一部抜粋】



◀参加者
約500人に
語りかけました。

地域で活躍する事業所・団体・個人の皆さん

事業所 三桜工業(株)



▲平成27年度ハーモニー功労賞受賞者
(写真後列中央が三桜工業(株)様)

事業所敷地内に保育所施設「さくらんぼ」を設置し、育休明けからの職場復帰を支援しています。

また、ワーク・ライフ・バランスの視点から業務の効率化に向けた部門横断プロジェクトを発足するなど、女性が活躍するための職場づくりを積極的に行っています。

昨年11月、男女共同参画社会の実現に向けて先駆的な取り組みをした企業に贈られる「茨城県ハーモニー功労賞」を受賞しました。

団体 (一社) 青年会議所

昨年7月、市内在住の女性とさまざまな意見交換を行いました。

【意見一部抜粋】

- 仕事のモチベーションをアップするため、企業側が女性の活躍できる場面、場所、時間を作って育成すべきだと思う。
- 『イクメン』という言葉もあるように、男性に対しても育児休暇の取得を積極的に促したり、無料の託児所を配置したりするなど、企業側の協力も必要だと思う。



▲男性、女性それぞれの立場でさまざまな意見が交わされました

個人 大里 ひろみさん



▲研修報告会で北欧の先進事例を紹介しました
(2月13日、行方市で。写真中央が大里さん)

県の事業「ハーモニーフライトいばらき2015」に参加しました。昨年11月、6日間の海外研修でフィンランドを訪問し、男女共同参画の取り組みを学んだり、福祉・教育の現場を視察したりしました。

男女共同参画社会の実現のため、大里さんには地域でリーダーとなり積極的に活動を展開していくことが期待されています。